



●世界のシルク産業（フランス）

前回のタイに続き、今回はフランスのシルク事情をお伝えします。

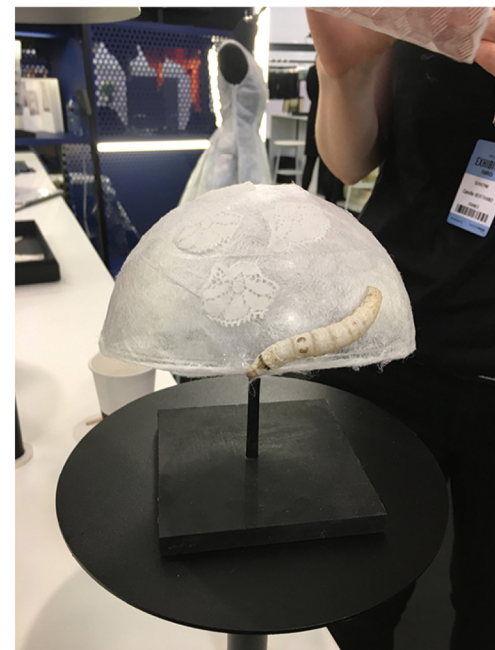
世界的高級ブランドが集まるファッションの都フランス・パリには、全世界から最高級・最先端の素材が集まってきます。そのフランスで開催される世界最大のファッション素材の展示商談会「プルミエール・ビジョン」。その中でも選ばれた企業しか参加することのできない「特別展」に参加している「セリシン」という会社を訪問しました。そこでは、カイコが球体や平面の上を這いながら繭を吐くことで、製糸や成形を必要としない先進的なものづくりを実践しています。この繭の作り方は特別な手法で、フランスでの特許も申請しているそうです。フランスのテレビ局なども取材に訪れていて、注目度の高さが伺えました。

「シルクの伝統を新しい技術で生まれ変わらせることにやりがいを感じています」そう話すのは、デザイナーのカラーラ・アルディさん。「最先端のシルクは日本で創られると、世界中のファッション関係者が期待しています。フランスは伝統を重んじますが、新し

いものにも寛容なので、ぜひ新しいシルクをフランスにも持ってきてください。すてきな化学反応（反響）が生まれると思いますよ」とのこと。

このようにプルミエール・ビジョンでも最先端技術で創られた織物が注目を集めるなど、現在シルク産業では「テクノロジー」がトレンドになりつつあります。

ことし4月に完成予定の周年無菌養蚕技術^{しゅうねん む きんようさん}を導入した最先端の養蚕工場で創られる「やまがシルク」が、世界のファッション市場を席巻する日も近いかもしれません。



球体の表面に繭を吐くカイコ

※新シルク蚕業構想の情報は、次のWEB サイトでも発信しています。ぜひご覧ください。

<http://www.silk-on-valley-yamaga.jp/>